

西海ブロック水産業情報

NO. 77 (平成24年4月～6月)

その他(水産利用加工、水産経済関係、災害等)

山口県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県
<ul style="list-style-type: none"> ・イサキ、キダイ、アサリ、チダイの成分分析 ・近赤外分光法による粗脂肪量非破壊測定を検討 ・魚の凍結予備試験 		<p>【玄海】 [情報発信] ・携帯電話による沖合海面水温分布情報及び沿岸域(3地点)水温塩分情報を発信。 ・漁海況情報、漁場環境情報、赤潮、貝毒PL情報等をHP及びFAXで発信。 [赤潮情報] 6月:伊万里湾でProrocentrum dentatum、Karenia mikimotoiによる赤潮が発生 唐津湾でLeptocylindrus spp、Skeletonema sppによる赤潮が発生 仮屋湾においてCheatoceros sppによる赤潮が発生 [その他] 4月:調査取締船「まつら」、「かがみ」竣工式を開催 5月:玄海地区複合経営推進支援事業審査委員会の開催</p>	<p>○研究技術開発 1. 水産物供給体制づくりのための技術育成事業 2. 水産加工原料確保のための新原料開発 3. 戦略プロジェクト 海外輸出に向けた活魚輸送技術の開発 4. 魚価向上および高品質な水産物、水産加工品の提供を目指した品質測定機器の開発</p>	<p>・平成23年度に更新した水産研究センター加工施設の漁業者向け利用(オープンラボ)を開始した。</p>

鹿児島県	宮崎県	大分県	沖縄県
	<p>・4月上旬に日向灘全域において、珪藻類のタランオシラ(Thalassiosira diporocyclus)が大量発生した。漁業被害はなかったが、粘液質を帯びたそれら群体の付着によって漁具の汚れ等が問題となった。 ・4月25日から5月2日にかけて、ほぼ同時期に浦城湾、尾末湾、北浦湾の漁港内よりヘテロシグマ(Heterosigma akashiwo)による赤潮が発生した。着色域は養殖漁場へと広がったものの短期間で終息し漁業被害はなかった。</p>	<p>○4月～6月の赤潮発生状況は、以下の6件であり、漁業被害があった。 ・コックロディニウム・ポリクリコイデス(豊後水道 猪串湾)が1件 ・カレニア・ミキモトイ(豊後水道 佐伯湾)が1件 ・ヘテロシグマ・アカシオ(豊後水道 佐伯湾、臼杵湾)が2件 ・シャットネラ類(別府湾)が1件 ・ケラチウム・フルカ(豊後水道 入津湾)が1件</p>	